福岡大学

9学部31学科を擁し、九州最多の在学生2万人超を数える福岡大学が、今年で創立80周年を迎えた。卒業生は約24万5000人を数え、全国に広大な“福大人脈”を形成する私学の雄である。昨年度からは本格的な国際化の推進に着手。9カ年計画の「グローバル人材育成推進事業」で、「アジアを見据えた地域の総合教育拠点」にふさわしいグローバル人材を育成する。

「地域性」と「国際性」を備えたグローバル人材の育成

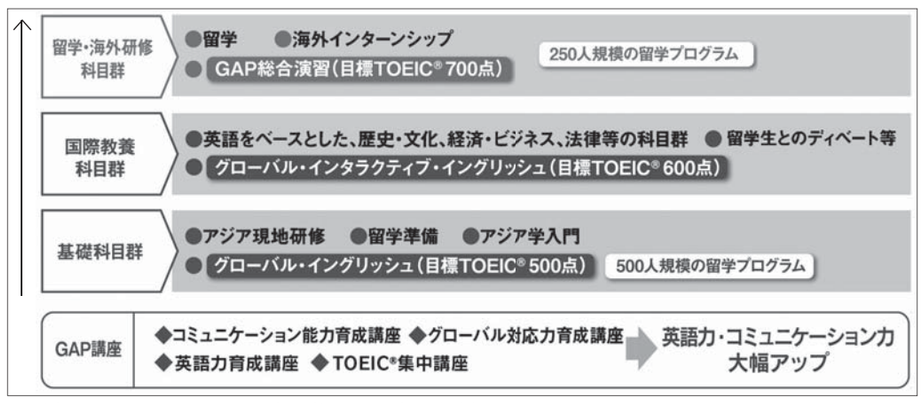
グローバル人材を育成する新プログラム「GAP」

いまやグローバル化は世界の潮流である。福岡大学はこれまでも、海外協定校の増加、留学生別科の設置など、次々と国際化に向けた取り組みを打ち出してきた。さらに昨年度からは「グローバル人材育成推進事業」に着手。事業の一環として、全学部対象の教育プログラム「グローバル・アクティブ・プログラム(GAP)」をスタートさせた。

GAPは、「基礎科目群」「国際教養科目群」「留学・海外研修科目群」の三つの科目群に分かれている(左図参照)。最も特徴的なのが、基礎科目群の「アジア現地研修」と「グローバル・イングリッシュ(GE)Ⅲ・Ⅳ」。これは海外研修の授業で、早い時期に異文化と触れ合うことで、「自分に何が足りないのか」など〝気付き〟を促す狙いがある。今年度のGEでは、英国オックスフォード大学や米国ハワイ大学など、海外有名大学への研修が予定されている。

さらに興味深いのが、科目群とは別に設けられた「GAP講座」だ。単なる語学力ではなく、英語を使ったコミュニケーション力を鍛えるのが目的である。役者を講師に招いて身ぶり手ぶりで気持ちを伝える練習や、外国人留学生をアシスタントにして行うグループワークなど、ユニークで実践的な〝仕掛け〟が多数用意されている。

「本学が目指すグローバル人材とは、必ずしも流暢な英語を話せる人材のことではありません。何とか相手に意思を伝えたいという意欲を持ち、異文化の中に堂々と飛び込んでいけるタフな人材のこと。そのような若者を育てたい」と衛藤卓也学長は語る。



語学力とコミュニケーション力を鍛える、全学部対象のGAP

国際化を推進し福大ブランドの価値を高める

さらに同大学は、グローバル人材育成の重要なファクターとして、学生の海外派遣の大幅増加も挙げている。また、海外からの留学生受け入れも増やし、学内の国際化を推進していきたい考えだ。

「単純に留学生を増やすのではなく、優秀な人材を取り込みたい。そのためには日本人学生のレベルを上げて、福岡大学のブランド価値を高めなければならない」と衛藤学長。その方策の一つがGAPであり、今後は教員や職員の海外語学研修、英語で学ぶ授業科目の増設など、留学生を受け入れる態勢も強化していく。

同大学が改革を推進する理由は、地域社会を支える人材の供給拠点であることも大きい。九州に本拠を置く企業の社長輩出数は全国最多。産業、金融、医療・福祉、教育など、あらゆる分野で福大卒業生が目覚ましい活躍を見せている。

「グローバルとは何も海外で働くことだけではありません。アジアの玄関口に位置する福岡、九州は特に国際化が加速し、日本に居ながら外国人と共に働く機会が増えていくでしょう。その時グローバルな視野は絶対に必要」と力説する衛藤学長。地域を支えるグローバル人材の育成もまた、同大学の重要な使命に他ならない。

留学生も交え、活発な意見が飛び交う

総合大学ならではの強みで夢の実現を応援

衛藤学長は「三つの知」の重要性を説いている。三つの知とは、哲学や語学など幅広い「教養知」、専門分野の知識である「専門知」、そして倫理観、忍耐力、良識などの「経験知」である。経験知は、ボランティア活動や海外留学など経験を積んで身に付く知力だ。

今年2月には、海外インターンシップとしてベトナム・ホーチミンに学生16人を派遣し、日系企業8社での職業体験を実施した。一度に十数人規模の学生を海外へ派遣する大学は珍しく、これも学生の「経験知」を高める効果的な取り組みといえるだろう。

文部科学省が開催する「サイエンス・インカレ」で、同大学の学生が3年連続受賞を果たしたことも注目のトピックスだ。サイエンス・インカレは、全国の理系学生に自主研究を発表する場を設け、創造性豊かな科学技術人材を育成する取り組み。今年は200組を超える応募があり、その中で同大学工学部の学生3人が、各協力企業・団体賞の2部門を受賞するという快挙を成し遂げている(左欄のCLOSE UP! 参照)。

福岡大学は多彩な研究、経験豊富な教授陣、幅広い人的交流など総合大学ならではの強みが際立つ。さらに世界へ目を向けるきっかけも豊富にある。学生たちの夢を叶える同大学のフィールドは、確実に広がりつつある。

ベトナムでのインターンシップに向けて(事前研修会)

卒業生から

【福大での学びは自動車づくりそのもの】

自動車メーカーにエンジニアとして勤務しています。自動車は何万という部品から成っていて、1台の車に何百人ものエンジニアが関わります。私は「ティアナ」や「スカイライン」のステアリング(操舵装置)の設計を担当しています。

エンジニアを志して機械工学科に進学しました。この学科で身につけた「ものづくり」の基盤となる知識や理論は、今でも私の日々の仕事において強い支柱です。また、学部を超えて活動する課外活動では、互いの個性を尊重し、協調しながら結論を導き出していくことを学びました。これは日産が戦略として推進している「ダイバーシティ(多様性)」に通じるものだと感じています。社会に出て感じる福大での充実した4年間は貴重でした。

日産自動車株式会社 車両要素技術開発本部
シャシー技術開発部
ステアリングシステム開発グループ 主査
林田 辰也さん
1999年 工学部 機械工学科卒

在学生から

【オックスフォード研修で自分の成長を実感】

大学生活で特に打ち込んでいるのはGAPの授業です。TOEIC®スコア向上のポイントを学ぶ授業や、留学生と一緒に学ぶグループワークなどを通じて、英語力に磨きをかけることができました。

「グローバル・イングリッシュ」ではオックスフォード大学での研修に参加。英国は初めてでしたが、GAPを受けていたので会話はスムーズでした。この授業ではプレゼンテーションやディスカッションなどを通して、自分の意見を発言することが多かったため、帰国後の授業を受けた時に、自分から発言したり、周りをまとめることができるようになっていて、私自身、自分の成長に驚きました。

2万人以上の学生が集まる福岡大学は、先生と学生、また学生同士の距離が近く、人とのつながりがたくさん生まれる場所。私が参加した学生主体のプロジェクト以外にも、たくさんのサポートが充実していますから、自分から行動すれば可能性を無限に広げられる環境です。

経済学部 産業経済学科 3年
笠間 菜穂子さん

CLOSE UP!

サイエンス・インカレで3年連続受賞

自然科学分野の独創的な研究が全国の大学から寄せられる文部科学省主催の「サイエンス・インカレ」で、福岡大学の学生が3年連続の受賞という快挙を成し遂げている。第3回となる今年、激戦を勝ち抜いて各協力企業・団体賞の2部門を受賞したのは、同大学工学部社会デザイン工学科3年の平川裕也さん、西将太郎さん、坂本慎也さんの3人だ。

研究テーマは「再生半水石膏から溶出するフッ素が危険!? 浄水汚泥を使って環境に優しい不溶化材造りに挑む!!」。廃棄量が年々増えている「廃石膏ボード」に含まれる毒性物質のフッ素を、浄水処理の際に出る「浄水汚泥」の中のアルミニウムの働きで抑制。環境に優しい地盤改良材として再利用できるという技術だ。「廃石膏ボード」と「浄水汚泥」という二つの廃棄物を使い、土木工事で有効利用できる新しい製品づくりに成功したことになる。

3人は研究室担当の佐藤研一教授から今回のテーマを示唆され、およそ半年間にわたって深夜まで実験に明け暮れた。インカレの発表会では、土木分野の研究が少ない中、3人の研究が注目を集め、「エア・リキード賞」と「公益社団法人日本技術士会会長賞」の2部門を受賞した。「日本技術士会の方からは、『リサイクルの視点で発表したのは君たちだけだった』と評価していただきました」と平川さんは話す。

8月には外務省の「KAKEHASHI Project」の一環で渡米し、今回の研究を発表することが決まっている。「発表を事前に化学専門の先生に見てもらい、土木とは異なる視点でアドバイスをもらうなど、総合大学の良さを感じています」と西さん。高度な研究をサポートする福岡大学の学習環境が、実社会で役立つ研究成果を生み出している。

左から、平川さん、坂本さん、西さん

《基本情報》 福岡大学(私)

【創 立】1934年(福岡高等商業学校として創立)
【学 部】人文学部、法学部、経済学部、商学部、商学部第二部、理学部、工学部、医学部、薬学部、スポーツ科学部
【就職支援部門職員人数】18人 九州1位
【社長の出身大学・全企業】2,891人 九州1位(全国16位)
(いずれも『大学ランキング2015版』より)

〒814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1
☎092-871-6631(代表) http://www.fukuoka-u.ac.jp

BEST CHOICE Fukuoka University
福岡大学でしか
叶えられない夢がある。

全学部同時開催
オープンキャンパス2014
8月9日(土)
10:00〜16:00
(予約不要・入退場自由)

●人文学部/文化学科/歴史学科/日本語日本文学科/教育・臨床心理学科/英語学科/ドイツ語学科/フランス語学科/東アジア地域言語学科
●法学部/法律学科/経営法学科
●経済学部/経済学科/産業経済学科
●商学部/商学科/経営学科/貿易学科
●商学部第二部/商学科
●理学部/応用数学科/物理科学科/化学科/地球圏科学科
●工学部/機械工学科/電気工学科/電子情報工学科/化学システム工学科/社会デザイン工学科/建築学科
●医学部/医学科/看護学科
●薬学部/薬学科
●スポーツ科学部/スポーツ科学科/健康運動科学科

■オープンキャンパスに関するお問い合わせ
入学センター
TEL.092-871-6631(代表)
〒814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1
福岡大学 入試情報サイト 検索

人をつくり、時代を拓く。
福岡大學

募集期間
受付中 平成26年 9月20日(土)まで 当日消印有効
表彰
大賞(福岡大学長賞) 図書カード 5万円分〈1作品〉
優秀賞 図書カード3万円分〈2作品〉
入賞 図書カード3千円分〈50作品〉
応募方法
応募用紙を出力し、必要事項(学校名・学年・氏名[フリガナ]・年齢・性別・自宅郵便番号・自宅住所・電話番号)を明記の上、下記宛先まで郵送にてご応募ください。
応募用紙は、本学公式ウェブサイトからダウンロードできますので、ご利用ください。
応募先 〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19-1 福岡大学 広報課「全国高校生川柳コンクール」宛
詳細については、本学公式ウェブサイト「全国高校生川柳コンクール」をご覧ください。
http://www.fukuoka-u.ac.jp/ 福岡大学 検索
お問い合わせ 福岡大学 広報課 TEL.092-871-6631(代)
〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19-1
[主催] 福岡大学
[後援] 文化庁/全日本川柳協会/福岡県 他

第10回 平成26年度
全国高校生 川柳 コンクール
[作品募集中]
イマジネーションを五七五(リズム)にのせて
High School Student Senryu Contest

第9回 入選作品
大賞(福岡大学長賞)
テストにも
三分欲しい
ロスタイム

作品評価
これまでロスタイムが作ってきたドラマは幾つもある。一人一人に与えられた最も公平なものは「時間」という物差し。限られた時間内で答えを出す、というのは正解の前提でもある。あと3分、との思いを断ち切る終了のチャイム。これまで歩いてきた道にリセットボタンや消しゴムはないが、これからの道には工夫をすればいくらでもロスタイムを作ることができる。